

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲フォレシア
 ルネサス エレクトロニクス株式会社
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/contact/>
 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	レゾルバデジタルコンバータ IC	発行番号	TN-RDC-A0001A/J	Rev.	第1版
題名	端子機能変更及び、誤記訂正		情報分類	技術情報	
適用製品	RAA3064002GFP RAA3064003GFP	対象ロット等	関連資料	レゾルバ信号変換 IC ユーザーズマニュアル ハードウェア編 1.0 版(r03uz0002jj0100)	
		全ロット			

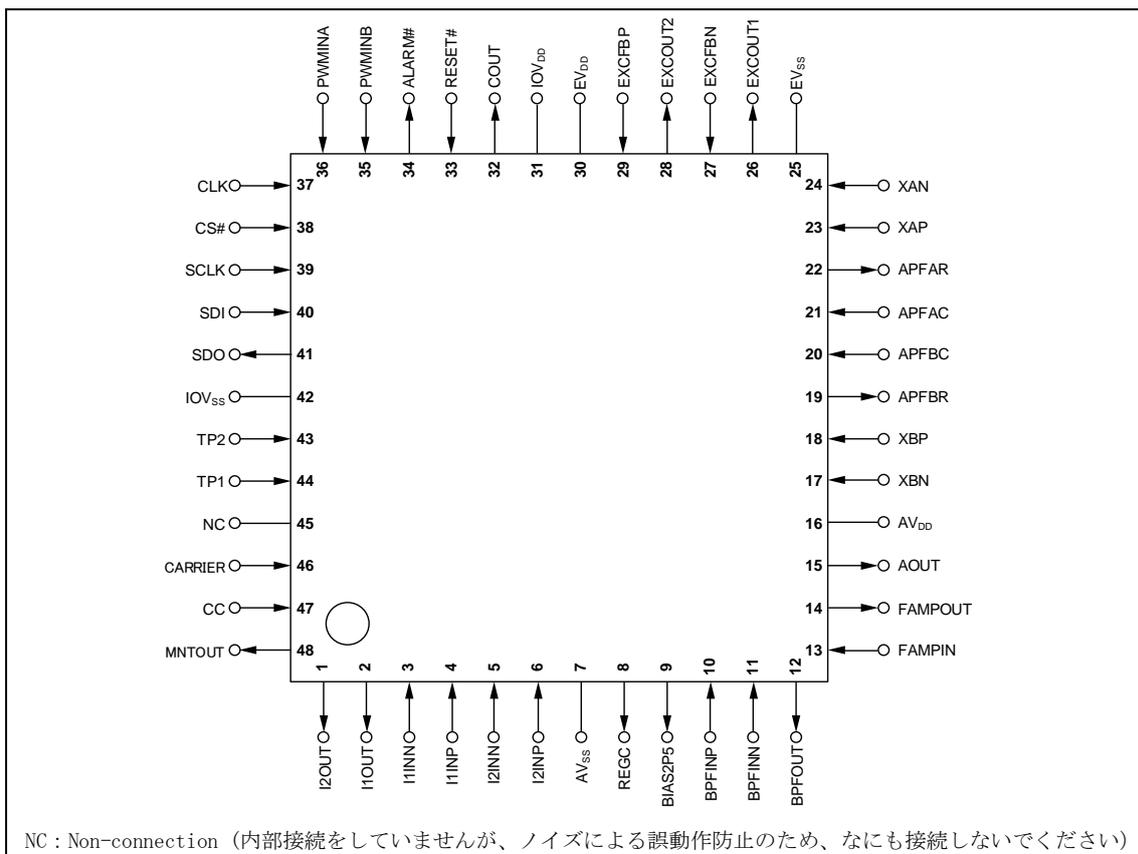
上記、適用製品において、45pin の NC 端子を LD02P1 端子に機能変更致します。機能変更に伴い、ユーザーズマニュアルハードウェア編 1.0 版の表 1.3(2/2)、図 1.2、図 2.3 を下記のように訂正致します。

また、誤記の訂正、内容の追記に伴い、ユーザーズマニュアルハードウェア編 1.0 版の表 1.1、表 1.3(1/2)、図 2.4、図 4.1、図 4.2、項目 4.1 レゾルバ信号変換の基本動作の文章を下記のように変更致します。

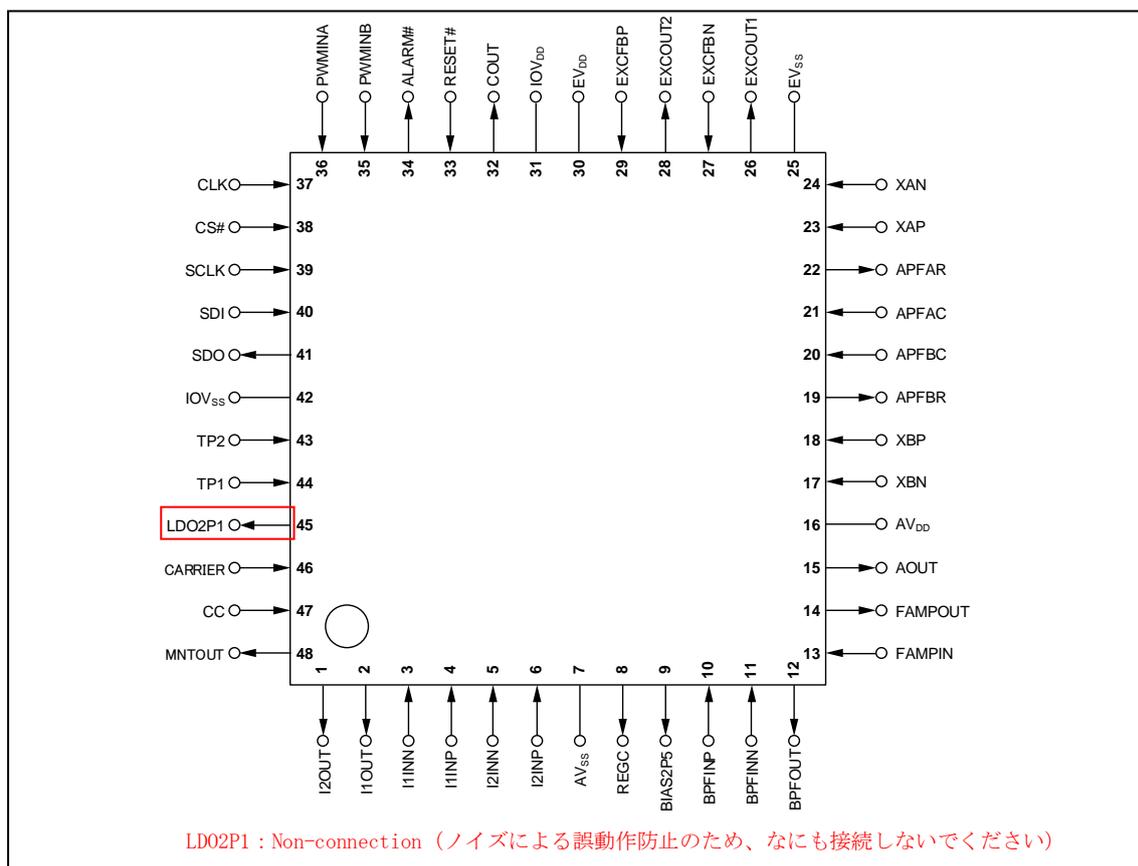
■機能変更

・Page 5/49：図 1.2 端子配置図を下記のように訂正致します。

[訂正前]



[訂正後]



・ Page 7/49：表 1.3(2/2)端子一覧の端子番号 45 を下記の様に訂正致します。

[訂正前]

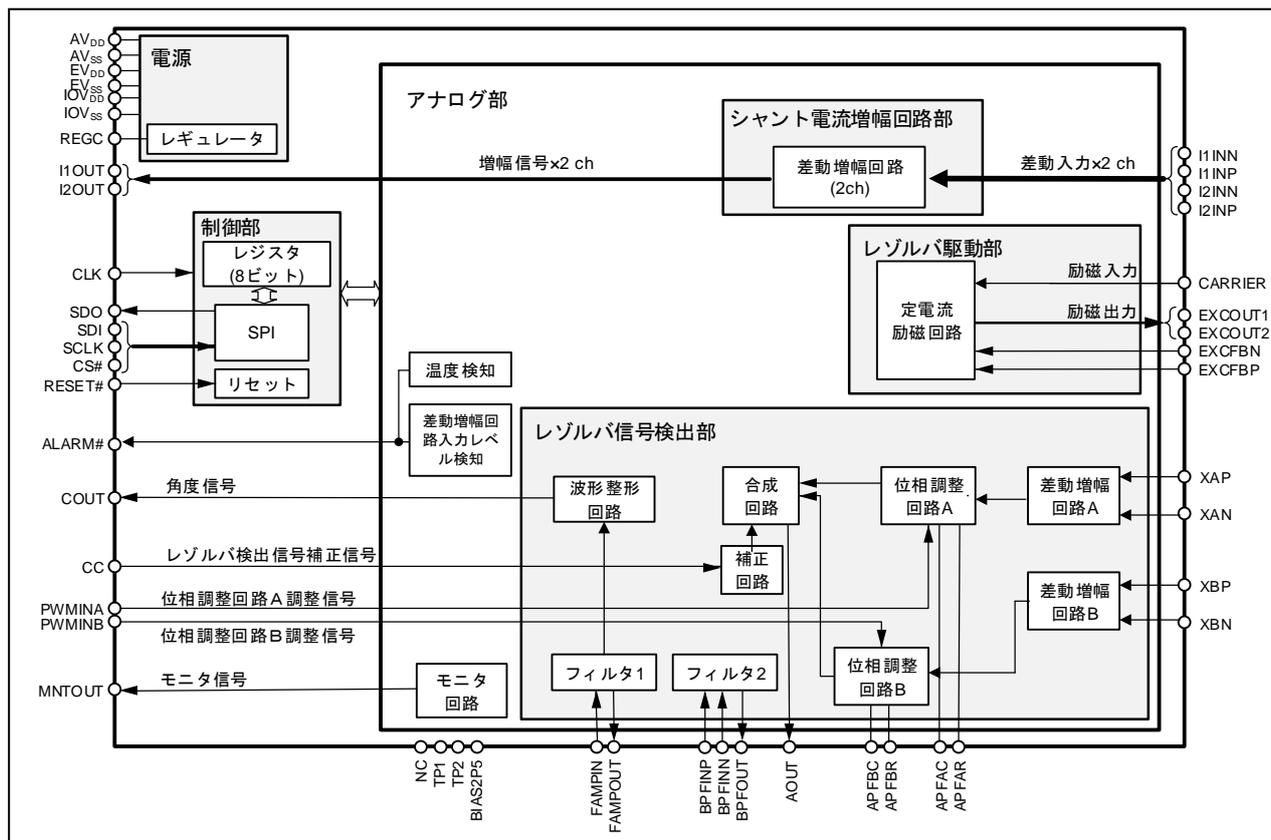
端子番号	端子名	入出力	機能	タイプ	電源	リセット時
45	NC	—	—	—	—	—

[訂正後]

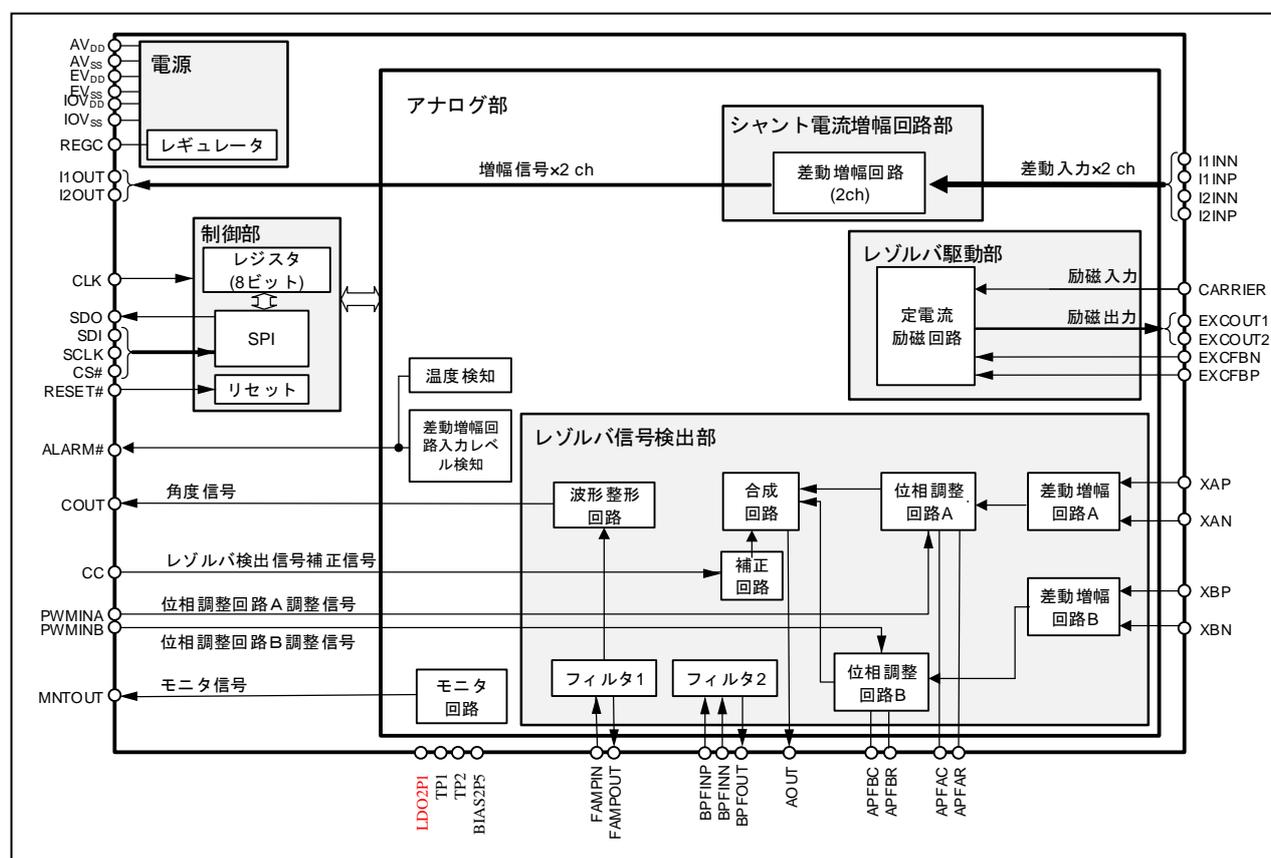
端子番号	端子名	入出力	機能	タイプ	電源	リセット時
45	LD02P1	出力	内部回路用電源確認端子 (Non-Connection)	アナログ	AVDD	Pull Down

・Page 10/49：図 2.3 内部ブロック図を下記の様に訂正致します。

[訂正前]



[訂正後]



■誤記の訂正、内容の追記

・ Page 3/49：表 1.1 型名一覧のオーダー名称を追記致します。

[訂正前]

パッケージ	温度動作範囲	オーダー名称
48 ピン・プラスチック LQFP	-40°C~+85°C	RAA3064002GFP#BA0
48 ピン・プラスチック LQFP	-40°C~+105°C	RAA3064003GFP#BA0

[訂正後]

パッケージ	温度動作範囲	オーダー名称
48 ピン・プラスチック LQFP	-40°C~+85°C	RAA3064002GFP#AA0
		RAA3064002GFP#BA0
		RAA3064002GFP#HA0
48 ピン・プラスチック LQFP	-40°C~+105°C	RAA3064003GFP#AA0
		RAA3064003GFP#BA0
		RAA3064003GFP#HA0

・ Page 6/49：表 1.3(1/2)端子一覧の端子番号 8、12、14 を下記の様に訂正致します。

[訂正前]

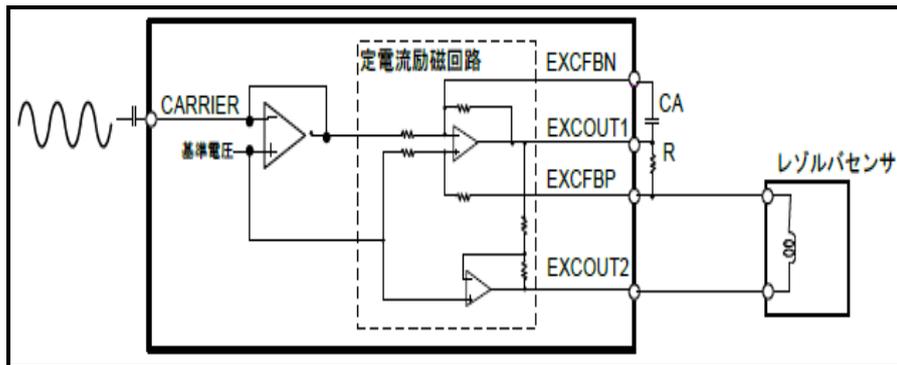
端子番号	端子名	入出力	機能	タイプ	電源	リセット時
8	REGC	出力	基準電圧用容量接続端子 (0.1uF で GND 接続推奨)	アナログ	AVDD	Hi-Z
12	BPFOUT	出力	フィルタアンプ出力 2	アナログ	AVDD	Hi-Z
14	FAMPOUT	出力	フィルタアンプ出力 1	アナログ	AVDD	Hi-Z

[訂正後]

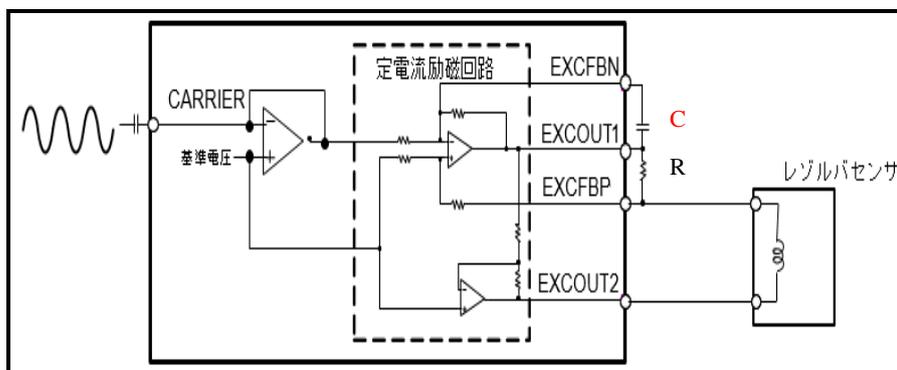
端子番号	端子名	入出力	機能	タイプ	電源	リセット時
8	REGC	出力	基準電圧用容量接続端子 (0.1uF で GND 接続推奨)	アナログ	AVDD	Pull-Down
12	BPFOUT	出力	フィルタアンプ出力 2	アナログ	AVDD	Pull-Down
14	FAMPOUT	出力	フィルタアンプ出力 1	アナログ	AVDD	Pull-Down

• Page 11/49：図 2.4 レゾルバ駆動部を下記の様に訂正致します。

[訂正前]

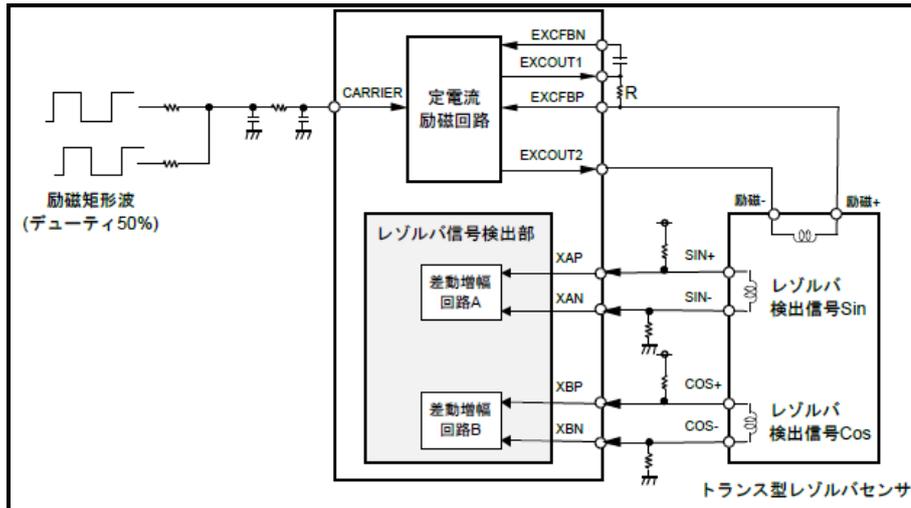


[訂正後]

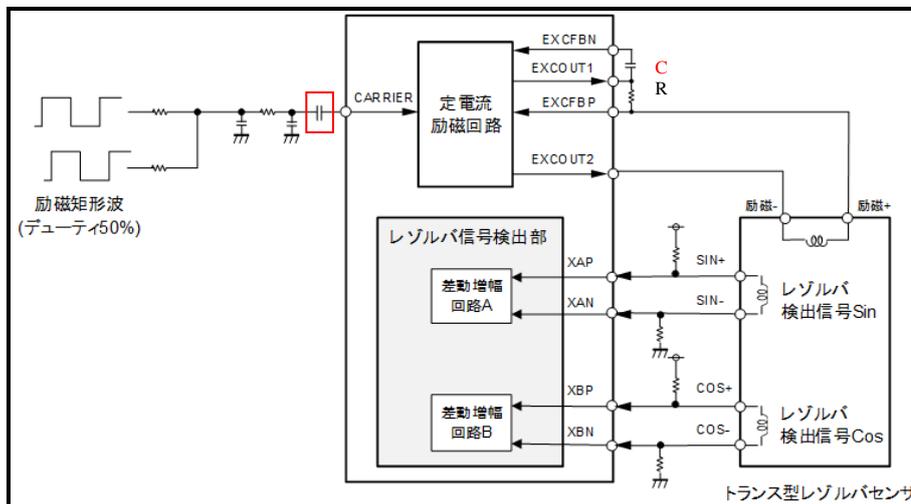


・Page 30/49：図4.1 トランス型レゾルバ接続例を下記の様に訂正致します。

[訂正前]

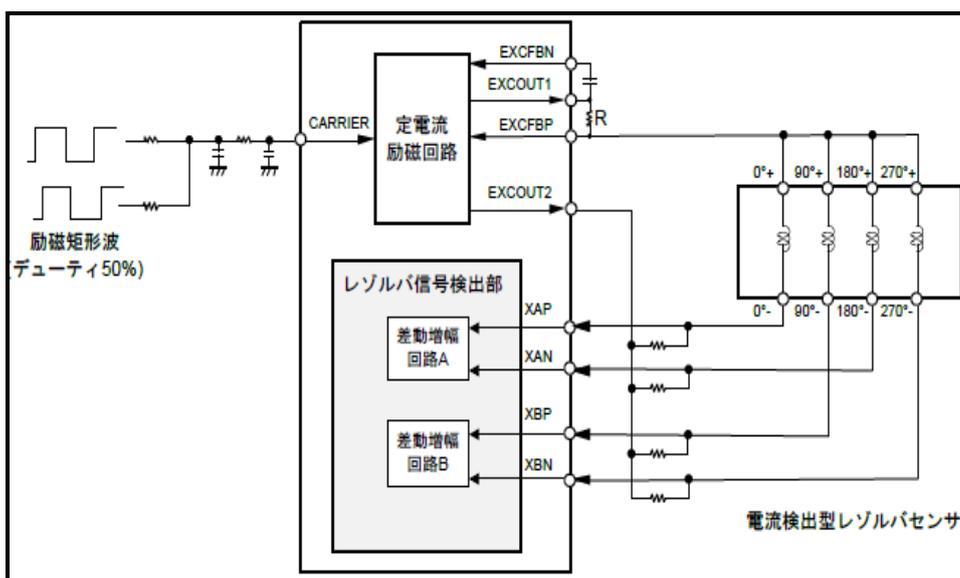


[訂正後]

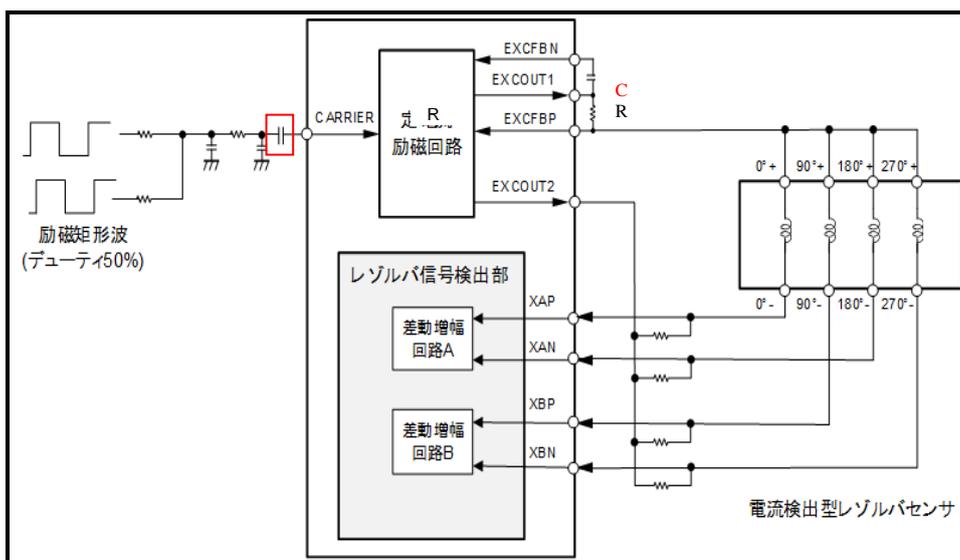


• Page 30/49：図 4.2 電流検出型レゾルバ接続例を以下の様に訂正致します。

[訂正前]



[訂正後]



・ Page 30/49 : 4.1 レゾルバ信号変換の基本動作の説明文章を以下の様に変更致します。

[修正前]

本 IC は、1 相励磁 2 相出力のレゾルバセンサの駆動、及びレゾルバ検出信号の変換に対応しています。

本 IC はホスト MCU と組み合わせて使用することで、レゾルバ検出信号から角度情報を得ることができます。レゾルバの駆動は、ホスト MCU が出力した励磁矩形波を外付けのローパスフィルタで正弦波に変換して本 IC に入力します。入力した信号周期で定電流励磁回路がレゾルバを定電流で駆動します。励磁信号で駆動されたレゾルバから 2 相のレゾルバ検出信号が出力され、本 IC に入力します。レゾルバセンサと本 IC との接続は、レゾルバセンサの種類で異なります。図 4.1、図 4.2 に接続例を示します。

[修正後]

本 IC は、1 相励磁 2 相出力のレゾルバセンサの駆動、及びレゾルバ検出信号の変換に対応しています。

本 IC はホスト MCU と組み合わせて使用することで、レゾルバ検出信号から角度情報を得ることができます。ホスト MCU から出力された励磁矩形波が外付けのローパスフィルタで正弦波に変換され、コンデンサを介して（容量結合）、本 IC に入力されます。本 IC 内の定電流励磁回路がその入力された信号周期に応じてレゾルバを定電流で駆動します。励磁信号で駆動されたレゾルバから 2 相のレゾルバ検出信号が出力され、本 IC に入力します。レゾルバセンサと本 IC との接続は、レゾルバセンサの種類で異なります。図 4.1、図 4.2 に接続例を示します。

以上